

難治性関節リウマチ

(Difficult-to-Treat Rheumatoid Arthritis, D2TRA)

- 関節リウマチの患者さんの中には、適切な治療を行っても難治性の方が一定数おられます。
- その基準の1つに、D2TRAという概念があり、以下の①から③を満たす場合にそのように呼んでいます。

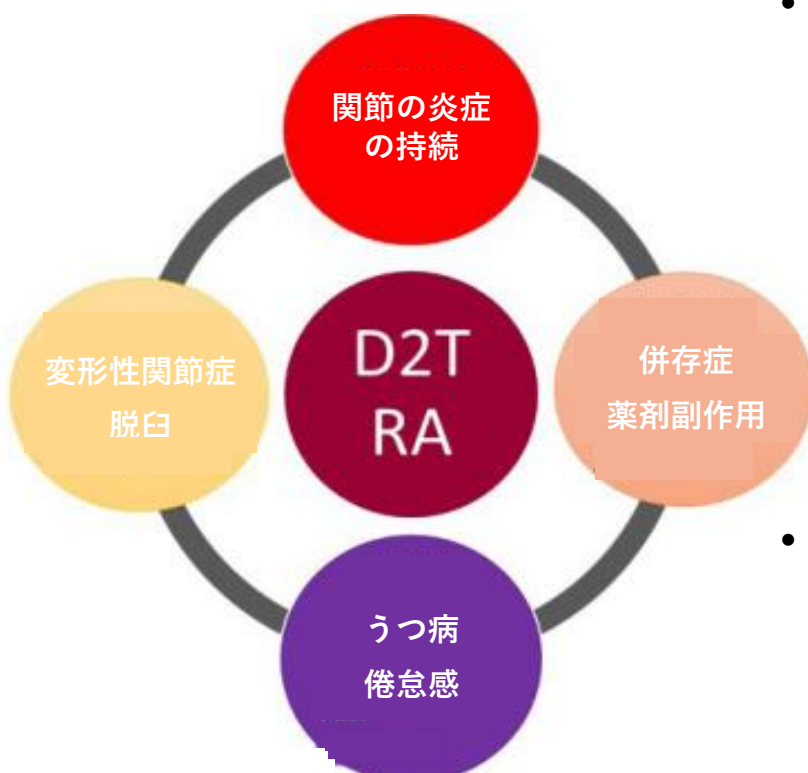
①メトトレキサートなどでの治療後に、2種類以上の生物学的製剤やJAK阻害薬で治療を行っても上手くいかない

②以下の1つ以上を認める

- a. 関節リウマチの活動性が高い
- b. 血液検査で炎症反応の上昇や関節超音波などの画像検査で活動性の高い関節炎の存在
- c. ステロイドが7.5mg/日以下に減量困難
- d. レントゲンでの関節破壊の急速な進行
- e. 関節リウマチの活動性は安定しているが日常生活の質が低下するような関節リウマチの症状が遷延

③主治医と患者さんが関節リウマチの治療が上手くいっていないと認識している。

● 難治性になる原因



- 難治性の原因には、本当に炎症性の関節炎が持続している場合もありますが、他の要因も複雑に絡み合っている場合も少なくありません。

- そのため医師だけでなく、薬剤師、理学療法士、心理カウンセラーなどの多角的なサポートが必要なこともあります。

- 難治性の原因を考え、チーム医療でサポートしていきます。